

DISC診断 — 印刷版

全24ブロック・約10分・正解・不正解はありません

お名前: _____

日付: _____

記入の仕方

各ブロックには4つの文があります。「+」の列には自分に最もあてはまる文を1つ、「-」の列には最もあてはまらない文を1つ、印を付けてください。職場での普段の行動を基準に、長く考え込まずに答えてください。最初の直感が最も正確です。正解・不正解はありません。

☐+ 最も あてはまる ☐- 最も あてはまらない

ブロック1

+ -

- ☐ ☐ 社交的
- ☐ ☐ 決断力がある
- ☐ ☐ 几帳面
- ☐ ☐ 忍耐強い

ブロック2

+ -

- ☐ ☐ 細部まで確認する
- ☐ ☐ 周りの人を支える
- ☐ ☐ 自ら率先して動く
- ☐ ☐ すぐに人と親しくなれる

ブロック3

+ -

- ☐ ☐ 安定を大切にする
- ☐ ☐ 秩序とルールを大切にする
- ☐ ☐ 注目されるのが好き
- ☐ ☐ 競争するのが好き

ブロック4

+ -

- ☐ ☐ 率直
- ☐ ☐ 穏やか
- ☐ ☐ 楽観的
- ☐ ☐ 慎重

ブロック5

+ -

- ☐ ☐ 人を説得するのが得意
- ☐ ☐ 事実に基づいて判断する
- ☐ ☐ 人の話をじっくり聞く
- ☐ ☐ 決断が早い

ブロック6

+ -

- ☐ ☐ 頼りになる
- ☐ ☐ 粘り強い
- ☐ ☐ 計画的
- ☐ ☐ 愛嬌がある

ブロック7

+ -

- ☐ ☐ 計画どおりに進める
- ☐ ☐ 周りの人を奮い立たせる
- ☐ ☐ 高い目標を掲げる
- ☐ ☐ 約束を守る

ブロック8

+ -

- ☐ ☐ 独立心が強い
- ☐ ☐ 分析的
- ☐ ☐ 落ち着いている
- ☐ ☐ 感情豊か

ブロック9

+ -

- ☐ ☐ 新しい出会いが好き
- ☐ ☐ 慣れたやり方が好き
- ☐ ☐ 難しい課題が好き
- ☐ ☐ 細部を掘り下げるのが好き

ブロック10

+ -

- ☐ ☐ 規律正しい
- ☐ ☐ 要求が厳しい
- ☐ ☐ 話し好き
- ☐ ☐ 思いやりがある

ブロック11

+ -

- ☐ ☐ 争いごとを避ける
- ☐ ☐ 気持ちを素直に表に出す
- ☐ ☐ 言葉を一つひとつ慎重に選ぶ
- ☐ ☐ 思ったことをはっきり言う

ブロック12

+ -

- ☐ ☐ 意志が強い
- ☐ ☐ 熱意にあふれる
- ☐ ☐ 謙虚
- ☐ ☐ 完璧主義

ブロック13

+ -

- ☐ ☐ 周りを元気にする
- ☐ ☐ 品質に目を配る
- ☐ ☐ 責任を引き受ける
- ☐ ☐ チームをサポートする

ブロック14

+ -

- ☐ ☐ 思慮深い
- ☐ ☐ 一貫している
- ☐ ☐ フットワークが軽い
- ☐ ☐ 大胆

ブロック15

+ -

- ☐ ☐ チームを重視する
- ☐ ☐ 成果を重視する
- ☐ ☐ 品質を重視する
- ☐ ☐ 人とのつながりを重視する

ブロック16

+ -

- ☐ ☐ せっかち
- ☐ ☐ 批判的になりすぎる
- ☐ ☐ 変化に慣れるのが遅い
- ☐ ☐ 衝動的

ブロック17

+ -

- ☐ ☐ 人を信頼する
- ☐ ☐ 義理堅い
- ☐ ☐ リスクを恐れない
- ☐ ☐ 基準を守る

ブロック18

+ -

- ☐ ☐ 控えめ
- ☐ ☐ カリスマ性がある
- ☐ ☐ 物腰が柔らかい
- ☐ ☐ エネルギッシュ

ブロック19

+ -

- ☐ ☐ 結論を急がない
- ☐ ☐ 条件をすべて確認する
- ☐ ☐ すぐに本題に入る
- ☐ ☐ 誰とでも話が合う

ブロック20

+ -

- ☐ ☐ 自信がある
- ☐ ☐ 気配りができる
- ☐ ☐ 弁が立つ
- ☐ ☐ 段取りがよい

ブロック21

+ -

- ☐ ☐ 人前で話すのが好き
- ☐ ☐ 指揮を執るのが好き
- ☐ ☐ 分析するのが好き
- ☐ ☐ 人を助けるのが好き

ブロック22

+ -

- ☐ ☐ 綿密
- ☐ ☐ 面倒見がよい
- ☐ ☐ 付き合いがよい
- ☐ ☐ 目的意識が強い

ブロック23

+ -

- ☐ ☐ 物事をあるがままに受け入れる
- ☐ ☐ 気持ちの切り替えが早い
- ☐ ☐ 納得できなければ反論する
- ☐ ☐ 正確さにこだわる

ブロック24

+ -

- ☐ ☐ 統率力がある
- ☐ ☐ 論理的
- ☐ ☐ 活発
- ☐ ☐ 言動にブレがない

キー：各文がどのスタイルに対応するか

各ブロックについて、文1、2、3、4が順にどのスタイルに対応するかを示しています。自分が付けた印の横に、スタイルの文字を書き込んでください。

ブロック	文1~4			
1	I	D	C	S
2	C	S	D	I
3	S	C	I	D
4	D	S	I	C
5	I	C	S	D
6	S	D	C	I
7	C	I	D	S
8	D	C	S	I
9	I	S	D	C
10	C	D	I	S
11	S	I	C	D
12	D	I	S	C

ブロック	文1~4			
13	I	C	D	S
14	C	S	I	D
15	S	D	C	I
16	D	C	S	I
17	I	S	D	C
18	C	I	S	D
19	S	C	D	I
20	D	S	I	C
21	I	D	C	S
22	C	S	I	D
23	S	I	D	C
24	D	C	I	S

結果の集計

スタイルごとに「最もあてはまる」の印の数と「最もあてはまらない」の印の数を数え、前者から後者を引いてください。合計は-24~+24の範囲になり、4つのスタイルの合計を足すとゼロになります。

スタイル	「最もあてはまる」の数	「最もあてはまらない」の数	合計（差）
D 主導			
I 感化			
S 安定			
C 慎重			

タイプの判定方法

合計が最も高いスタイルが主要スタイルです。2番目に高い合計が正で、主要スタイルの40%以上（最低3点）であれば、それが第2スタイルです。タイプは1文字（例：D）または2文字（例：DI、主要スタイルD・第2スタイルI）で表します。どの合計も2を超えない場合はバランス型で、スタイルがほぼ均等に表れています。

DISCの16タイプ

D 達成者

目標に向かってまっすぐ、素早く進みます。自ら率先して動き、長い議論を経ずに決断し、反発を恐れませんが、状況を自分でコントロールし、目に見える成果を得ることを大切にしています。

DI 開拓者

推進力と魅力。目標に向かって素早く突き進み、人を巻き込む力があります。勢いと熱意で説得し、その場で決断しますが、細部への忍耐や慎重さはしばしば不足しがちです。

DC 戦略家

品質を通じて成果を出すタイプです。自分にも他人にも厳しく、体系的に考え、根拠のない決断はしません。複雑な課題に強い一方、冷淡で批判的すぎると映ることもあります。

DS 実務家

粘り強さと信頼性。目標に向かって着実に進みますが、余計な騒ぎは起こさず、始めたことは最後までやり遂げます。自主性と安定の両方を大切にす、珍しい組み合わせです。

I ムードメーカー

人とのつながりを通じて物事を動かします。すぐに打ち解け、熱意を伝え、言葉と雰囲気人で動かします。承認と生き生きとした交流を大切にす一方、形式的な手続きやルーティンにはすぐに疲れてしまいます。

ID モチベーター

エネルギーと勢い。アイデアで人を惹きつけ、率先して動くことを恐れませんが、アイデアや目標を「売り込む」のは得意ですが、自分の力を過信し、細部を軽視してしまう恐れがあります。

IS メンター

温かさと思いやり。人に好かれ、支え、まとめることができます。人間関係と雰囲気を大切にす一方、対立や厳しい要求には苦手意識があります。

IC プレゼンター

弁舌と正確さ。よく練られた考えを説得力をもって伝えることができます。社交性と事実へのこだわりを併せ持ちますが、即興性と慎重さの間で揺れることもあります。

S 縁の下力持ち

安定をつくり出す存在です。約束を守り、始めたことは最後までやり遂げ、人を支え、対立を和らげます。見通しの立つ環境、信頼関係、そして変化に慣れるための時間を大切にしています。

SI 調整役

穏やかさと親しみやすさ。信頼の雰囲気をつくり、角が立たないように取り計らい、チームを支えます。「ノー」と言うことや、不人気な決定を貫くことは苦手です。

SC スペシャリスト

信頼性と丁寧さ。着実に仕事を進め、ルールを守り、慌てずに最後までやり遂げます。安定と明確な期待を大切にす一方、急激な変化や圧力にはストレスを感じやすいです。

SD 実行者

粘り強さと忍耐。余計な議論に時間を費やさず、静かに、しかし確実に物事を成果へと導きます。長期にわたって頼りになる存在ですが、周りからは頑固に見えることもあります。

C アナリスト

事実と基準を拠る所にします。確認し、分析し、計画を立て、性急な決断を好みません。スピードや見栄えよりも、品質と正しさを大切にしています。

CD 完璧主義者

基準と意志。自分にも他人にも正確さを求め、誤りをすぐに見抜き、指摘することを恐れませんが、高度な専門的課題に強い一方、厳しすぎたり、閉鎖的になったりすることもあります。

CS エキスパート

正確さと一貫性。じっくりと考えて仕事に取り組み、細部を確認し、実績のある方法を用います。頼れる専門家ですが、不確かさや急な変化は苦手です。

CI コンサルタント

分析と対話。物事を深く理解し、それを分かりやすく人に伝えることができます。結論には慎重で、コミュニケーションは軽やか。珍しい組み合わせです。「まず確かめる」と「まず伝える」の間で葛藤することもあります。